

令和2年度  
稲美町まち・ひと・しごと  
創生総合戦略 参考資料

(推進委員会資料)

令和3年2月25日

兵庫県 稲美町

## 目 次

### 令和元年度地方創生事業の検証について

- ・総合戦略における各施策KPIの状況-----1
- ・いなみフルーツレインボー振興事業-----7

### 令和2年度地方創生事業の状況について

- ・ひょうご地域創生交付金制度要綱-----8
- ・移住定住支援補助金（お試し居住補助金）-----11

稲美町総合戦略アクションプラン（案）-----別冊

# 総合戦略における各施策KPIの状況

基本目標1 稲美町における安定した雇用を創出する	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	目標
【数値目標】稲美町に常住する就業者数 (基準年と基準値) 平成22年度 国勢調査 14,391人	14,364	—	—	—	—	—	15,000人 (令和2年度 国勢調査)

(1)希望や生きがいをかなえる働き方の創出	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	目標
①若者の雇用・就業促進 (基準年と基準値) 若者(25~39歳)の就業者数 平成22年度 国勢調査 4,331人	3,829	—	—	—	—	—	4,400人 (令和2年度 国勢調査)
②女性の雇用・再就業促進 (基準年と基準値) 15歳以上女性就業者数 平成22年 国勢調査 6,052人	6,144	—	—	—	—	—	6,200人 (令和2年度 国勢調査)

(2)地域特性を活かした農業の振興	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (参考値)	目標
①担い手の育成 (基準年と基準値) 集落営農組織数 平成25年度 30組織	31組織	32組織	32組織	32組織	32組織	32組織 (令和3年度)	達成見込
(基準年と基準値) 集落営農組織の法人化数 平成25年度 3組織	3組織	10組織	11組織	11組織	12組織	12組織 (令和3年度)	未達成
②6次産業化の推進 (基準年と基準値) 大規模6次産業拠点施設の配置 平成25年度 1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	達成見込
(基準年と基準値) 認定農業者数 平成25年度 30人+2団体	30人+5団体	30人+10団体	30人+11団体	31人+12団体	31人+13団体	31人+13団体	未達成
③ブランド化の推進 (基準年と基準値) 稲美ブランドのロゴマークの商品又は店頭表示 平成25年度 10品目	16品目	13品目	15品目	14品目	12品目	12品目	未達成

【基本目標 1】

(3) 活力のある商工業の振興	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (参考値) (12月末時点)	目標
① 地域産業の振興 (基準年と基準値) ふるさと納税寄付金協力企業 平成26年度 13事業所	13事業所	21事業所	21事業所	21事業所	24事業所	24事業所	未達成 25事業所 (令和3年度)
(基準年と基準値) 住宅リフォーム工事受注件数 平成25年度 51件	87件	89件	93件	88件	85件	67件	達成見込 基準年度以上 (令和3年度)
② 商工業の活性化 (基準年と基準値) 年間商品販売額(小売業) 平成24年度 経済センサス 227億円	—	289億円	—	—	—	—	基準年度以上 (令和3年度 経済センサス)
③ 魅力を活用した観光の推進 (基準年と基準値) 「兵庫県観光客動態調査」における稲美町の日帰り観光入込み客 数 平成24年度 126千人	124千人	128千人	124千人	129千人	—	—	基準年度以上 (令和3年度)
④ 企業誘致の推進 (基準年と基準値) 事業所数 平成24年度 経済センサス 1,146事業所	—	1,141事業所	—	—	1,385事業所	—	達成見込 基準年度以上 (令和元年度 経済センサス)

基本目標2 稲美町へ新しい人の流れをつくる							目標	
【数値目標】転入超過者数							2年度 (参考値) (12月末時点)	
(基準年と基準値) 平成22年度～平成26年度までの累計 163人							14人	
27年度							元年度	未達成 計300人 平成29年度～令和3年度までの累計
139人							45人	
28年度							30年度	
111人							58人	
29年度							29年度	
26人							6地区	
30年度							7地区	
58人							9地区	
元年度							9地区	
45人							9地区	

(1) 移住の推進							目標	
① 転入の促進							2年度 (参考値) (12月末時点)	
(基準年と基準値) 転入者数 平成26年度 959人							594人	
27年度							元年度	達成見込 基準年度以上 (令和3年度)
957人							1,005人	
28年度							30年度	
952人							979人	
29年度							29年度	
953人							6地区	
30年度							7地区	
元年度							9地区	
1,005人							9地区	
達成見込							9地区	
27年度							元年度	
969人							969人	
28年度							30年度	
968人							7地区	
29年度							29年度	
963人							6地区	
30年度							7地区	
元年度							9地区	
969人							9地区	

(2) ふるさと意識の醸成							目標	
① 食育の推進							2年度	
(基準年と基準値) 『くらしの中で食育を意識している』と回答した方の割合 平成21年度 37.7%							—	
27年度							元年度	80.0% (令和4年度 住民意向調査)
—							—	未達成
28年度							30年度	55.0% (令和2年度 住民意向調査)
56.8%							—	
29年度							29年度	
—							—	
30年度							7地区	
元年度							9地区	
—							9地区	
54.5%							9地区	
達成見込							9地区	
27年度							元年度	
—							—	
28年度							30年度	
50.0%							—	
29年度							29年度	
—							—	
30年度							7地区	
元年度							9地区	
—							9地区	

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる							目標
27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(参考値)	目標	
0.21	—	—	—	—	—	0.22 (令和2年度国勢調査)	
【数値目標】子どもと女性比 (基準年と基準値) 平成22年度 国勢調査 0.1865							

(1) 安心して結婚ができる社会の実現							目標
27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(参考値)	目標	
4.02	3.87	3.63	3.4	3.12	—	未達成 4.50 平成29年度～令和3年度までの5年間の平均	
① 若者の出会い・結婚のきっかけづくり (基準年と基準値) 人口千人あたり5年間平均婚姻率 平成21年度～平成25年度までの5年間の平均 4.15							

(2) 安心して出産・子育てができる社会の実現							目標
27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(参考値)	目標	
1.36	—	—	—	—	—	1.41 (令和2年度国勢調査)	
① 妊娠・出産の不安解消 (基準年と基準値) 合計特殊出生率 平成22年度 国勢調査 1.11							
—	27.2%	—	—	—	19.0%	未達成 30.0% (令和2年度住民意向調査)	
② 子育て家庭への支援 (基準年と基準値) 『子どもの健全育成と少子化問題への取組』に「満足」「やや満足」と回答した方の合計の割合 平成21年度 19.8%							
23人	25人	25人	26人	26人	26人	未達成 30人 (令和3年度)	
③ 地域全体で支える子育ての推進 (基準年と基準値) ファミリーサポートセンター提供会員数 平成26年度 23人							

基本目標4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る とともに、地域と地域を連携する	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (参考値)	目標
	【数値目標】稲美町の居住性について「住みよい」と回答した方の割合 (基準年と基準値) 平成21年度 22.4%	—	16.3%	—	—	—	28.3%
(1)にぎわいのある交流と観光の推進	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (参考値) (12月末時点)	目標
①地域の魅力の発信 (基準年と基準値) 稲美町ホームページ(トップページ) アクセス数 平成26年度 401,863件	482,734件	527,830件	357,739件	443,154件	252,036件	211,122件	未達成 基準年度以上 (令和3年度)
②交流活動の促進 (基準年と基準値) 「兵庫県観光客動態調査」における稲美町の 日帰り観光入込み客数 平成24年度 126千人	124千人	128千人	124千人	129千人	—	—	基準年度以上 (令和3年度)
③魅力ある観光の推進 (基準年と基準値) 『観光の振興』について「満足」「やや満足」と回答した方の 合計の割合 平成21年度 7.5%	—	20.9%	—	—	—	9.5%	未達成 最新の数値以上 (令和2年度 住民意向調査)
(2)安全安心で快適な暮らしの実現	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (参考値)	目標
①誰もが安心して暮らせる福祉社会の実現 (基準年と基準値) 『住民が安心して暮らせる保健・医療・福祉体制の整備』に対する「満足」 「やや満足」の合計の割合 平成21年度 30.8%	—	45.1%	—	—	—	27.3%	未達成 50.0% (令和2年度 住民意向調査)
②安全安心な生活の確保 (基準年と基準値) 『防災対策の充実』に対する「満足」「やや満足」の合計の割合 平成21年度 42.6%	—	42.1%	—	—	—	33.2%	未達成 45.0% (令和2年度 住民意向調査)
(基準年と基準値) 『防犯対策の充実』に対する「満足」「やや満足」と回答した方の 合計の割合 平成21年度 34.6%	—	21.2%	—	—	—	18.1%	未達成 40.0% (令和2年度 住民意向調査)
③便利で快適な公共交通の実現 (基準年と基準値) 『快適で安全な交通環境』に対する「満足」「やや満足」の 合計の割合 平成21年度 28.0%	—	26.3%	—	—	—	15.0%	未達成 30.0% (令和2年度 住民意向調査)

【基本目標 4】

(3) 地域資源の活用	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度 (参考値) (12月末時点)	目標
① 地域資源の利活用 (基準年と基準値) 空き家活用件数【累計】 平成26年度 0件	0件	0件	1件	1件	1件	1件	未達成 累計5件 (令和3年度)

(4) 住民協働によるまちづくりの推進	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	目標
① 住民協働によるまちづくりの推進 (基準年と基準値) 『住民とパートナーシップ』に対する「満足」「やや満足」の 合計の割合 平成21年度 16.5%	—	23.9%	—	—	—	12.4%	未達成 25.0% (令和2年度 住民意向調査)

(5) 広域的な連帯の推進	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	目標
① 広域的な連帯の推進 (基準年と基準値) 『広域行政の推進』の設問に対する「満足」「やや満足」の 合計の割合 平成21年度 12.7%	—	17.9%	—	—	—	9.9%	未達成 20.0% (令和2年度 住民意向調査)



令和2年度ぶどう先進地視察研修会 行程表

1. 日 時 令和2年11月29日(月) 8時30分～17時00分

2. 集合場所 加古郡稲美町六分一 にじいろふぁ～みん 駐車場

3. 行程表

8:30 集合

8:45 発 にじいろふぁ～みん 駐車場 (加古郡稲美町六分一 1179-224)

↓  
馬淵ぶどう園 (加西市倉谷町倉谷) 倉谷ぶどう団地

↓  
休憩・昼食 「ドライブインこまのつめ」(加古川市大澤 1038)

↓  
外山ぶどう園 (加古郡稲美町加古)

↓  
坂元ぶどう園 (加古郡稲美町幸竹)

↓  
17:00 着 にじいろふぁ～みん 駐車場

17:00 解散

## 2020年度（令和2年度）ひょうご地域創生交付金制度要綱

### 第1 趣 旨

少子高齢化の進展や本格的な人口減少の中にあっても、活力ある地域社会を実現するためには、市町や地域自らが、その創意工夫により地域創生の取組を主体的に進めていく必要がある。

ひょうご地域創生交付金（以下「県交付金」という。）は、このような観点から、県地域創生戦略又は市町版地域創生戦略に基づく市町、地域住民等の弾力的かつ機動的な取組や地域のポテンシャルを活かした新たな事業展開に資するものである。

### 第2 事業内容

#### 1 対象事業

交流や移住・定住を推進する地域振興対策や地域固有の資源を活用した地域活性化対策、地域社会が抱える課題解決に資する取組など県地域創生戦略又は市町版地域創生戦略に基づく市町単独事業を対象とする。

なお、県と市町等が連携して地域創生を推進する事業も対象とする。

#### 2 事業タイプ

ソフト及びハード事業とする。

### 第3 事業実施主体

市町及び市町が認める地域団体等とする。

### 第4 申請限度額及び負担率

#### 1 申請限度額

(1) 市 1.5億円（政令指定都市及び中核市は2.0億円）

(2) 町 1.0億円

#### 2 負担率

(1) 県1/2、市町1/2

(2) 政令指定都市、中核市及び地方交付税不交付団体は、県1/3、市2/3

### 第5 事業実施期間

令和2年度の1ヵ年とする。

### 第6 実施基準等

区 分	内 容
1 実施基準	<p>① 県地域創生戦略又は市町版地域創生戦略に資する新規・拡充事業であること。</p> <p>② 事業の申請にあたっては、国の地方創生推進交付金（以下「国交付金」という）の対象となるものは、国交付金の申請を優先する。なお、国交付金で不採択となった事業についても、県交付金への申請は可能となる。</p> <p>③ 重要業績評価指標（K P I）を設定すること。</p>
2 対象外事業	<p>① 国交付金や各省庁国庫補助事業の対象となるもの</p> <p>② 地方財政措置があるなど市町として実施すべき事業（小中学校運営費、市町施設等の老朽化修繕費・運営補填費等）</p> <p>③ 県単独事業の上乗せ措置</p>

	④ 既存事業の財源充当 ⑤ 個別給付等の事業（主として経済的負担の軽減を目的とするもの） など
3 対象外経費	① 市町職員の人件費など市町が負担すべきもの ② 家電・車両等の汎用性の高いもの ③ 光熱費、通信費（電話・通信回線使用料等）などの恒常的経費 ④ 酒類・販売目的の食材等の購入費 ⑤ 不動産取得等個人の資産価値を高めるもの ⑥ 宗教団体への助成 など

## 第7 事業実施の手続き

### 1 事業計画の作成

- (1) 市町は、事業の実施にあたり、事業計画書（別紙様式1号）を兵庫県知事に提出し、承認を受けるものとする。
- (2) 兵庫県知事は、前項の申請があったときはこれを審査し、当該事業計画書が適正であると認められる場合は、承認通知（別紙様式2号）を行う。

### 2 事業の着手

- (1) 事業の実施については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第6条第1項の交付の決定（以下「交付決定」という。）後に着手するものとする。
- (2) ただし、事業の効果的な実施を図る上で、緊急かつやむを得ない事情があり、交付決定前に事業に着手する場合にあっては、市町は、その理由を具体的に明記した交付決定前着手届（別紙様式第3号）を兵庫県知事に提出するものとする。
- (3) (2)により交付決定前に事業に着手する場合、交付決定までのあらゆる損失等は自らの責任とすることを了知の上行うものとする。

### 3 事業計画の変更

- (1) 市町は、事業内容の変更を行う場合、事業計画変更報告書（別紙様式4号）を作成し、兵庫県知事の承認を受けるものとする。
- (2) 兵庫県知事は、前項の申請があったときはこれを審査し、当該事業計画変更報告書が適正であると認められる場合は、承認通知（別紙様式5号）を行う。

### 4 事業実績報告

市町は、第7の1の事業計画に基づく全ての事業が完了したときは、事業実績報告書（別紙様式6号）を作成し、兵庫県知事に提出する。

## 第8 業績評価指標の設定及び効果の検証

市町は、事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）を設定の上、その達成状況について、原則、毎年度検証するよう努めるものとする。

## 第9 その他

この要綱に定めるもののほか、県交付金の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則 本要綱は、令和2年4月1日から施行する。

## 令和2年度 ひょうご地域創生交付金 申請概要

### 1. 世代間交流施設等整備事業

<ソフト事業>			
・ 世代間交流拠点施設の機能拡充を図るため、施設備品を購入する（子育て支援施設の電子機器、遊具、図書等）			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績 評価指標(KPI) (目標年月)	
施設備品購入費	26,360	合計特殊出生率：1.41 「こどもの健全育成と少子化問題への取組」に「満足」、「やや満足」と回答した人の割合：30%	2020年3月
事業経費合計			2020年3月
<ハード事業>			
・ 子育て支援機能と高齢者福祉機能を合わせ持つ世代間交流拠点施設の整備を行う（高齢者福祉施設部分に充当）			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績 評価指標(KPI) (目標年月)	
福祉施設整備・建設事業	43,639	ファミリーサポートセンター提供 会員数：30人	2020年3月
事業経費合計			

### 2. 移住の推進事業

<ソフト事業>			
・ 地区計画区域内の民間事業者等による開発行為の促進と不良街区の形成抑制のため、開発行為に対して補助を行う ・ 移住・定住を促進するため、魅力的な住環境形成に向けた調査・設計を行う ・ 岡東地区に都市公園を設置し、住民福祉の向上を図る			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績 評価指標(KPI) (目標年月)	
沿道活性化にぎわいづくり開発補助事業	5,670	転入者数：959人以上	2020年3月
移住・定住環境促進事業	8,795		
岡東公園整備事業	2,515	転出者数：910人以下	2020年3月
事業経費合計			

### 3. 安全安心で快適な暮らしの実現推進事業

<ソフト事業>			
・ 緊急通報システムの事業拡充を行い、高齢者等の安全の確保と不安の解消を目指す			
交付金対象事業経費の内訳		本事業における重要業績 評価指標(KPI) (目標年月)	
緊急通報システム管理運営事業	294	稲美町の居住性について「住みよ い」と回答した方の割合：25%	2020年3月
事業経費合計			

交付対象経費総額	87,273	(単位：千円)
----------	--------	---------



稲美町への移住を  
支援します！

# お試しし居住補助金

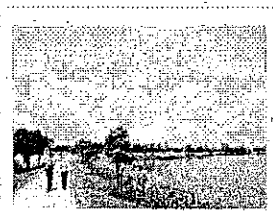
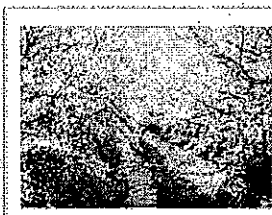
兵庫県外から稲美町へ移住を考えている皆さん・・・  
実際に稲美町で暮らしてみませんか？  
移住を目的として対象となるお試し住宅に入居すると、  
家賃等を **最大18万円** 補助します！！

お試し住宅とは？

町内にある民間賃貸物件で、  
一般社団法人兵庫県宅地建物  
取引業協会加盟の不動産  
仲介業者が仲介するものを  
いいます。

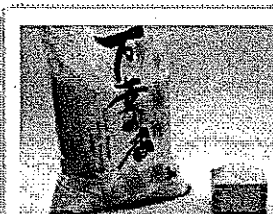
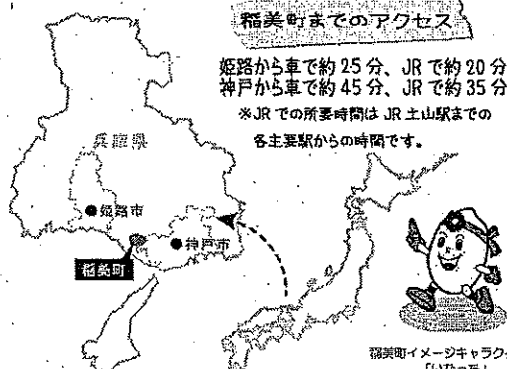


## ～ 稲美町ってこんなところ～



稲美町は兵庫県南部に位置し、古くは万葉集に「いなみ野」として詠まれた歴史ある地域です。

神戸市や姫路市などの都市に近い一方で、県内で一番大きな「加古大池」をはじめとする88カ所のため池と、田園風景が広がる自然豊かなこのまちで、のんびり暮らしてみませんか？



### 補助対象者

平成30年4月1日から令和4年3月31日までの間にお試し住宅に入居し、次のいずれにも該当する人。

1. お試し住宅入居前の1年間、4市町（稲美町・加古川市・高砂市・播磨町）以外に在住していること。
2. お試し住宅を利用する目的が通勤・進学以外であり、稲美町に定住する意思があること。
3. 申請者が、お試し住宅の賃貸契約の名義人であること。
4. 町税等の滞納がないこと。
5. 過去にこの制度の補助を受けたことがない人。
6. 町の他の住宅取得等に関する補助金の交付を受けたことがない人。

## 補助金額と対象経費

お試し住宅を利用した期間の家賃、仲介手数料及び家賃保証保険保証料の合計額  
 上限18万円

※ただし、家賃は平成30年4月1日から令和4年3月31日までのうち最長6カ月間  
 を対象とし、月3万円を上限とします。

### 【補助金額例】

家賃50,000円、仲介手数料55,000円、家賃保証保険保証料50,000円のお試し住宅に、5月  
 から入居された場合・・・

#### ●5月から6月までの2カ月間入居された場合

・家賃 60,000円  
 (月上限30,000円×2カ月)  
 ・仲介手数料 55,000円  
 ・家賃保証料 50,000円  
 165,000円 < 180,000円  
 ⇒ 補助金額 165,000円

#### ●5月から10月までの6カ月間入居された場合

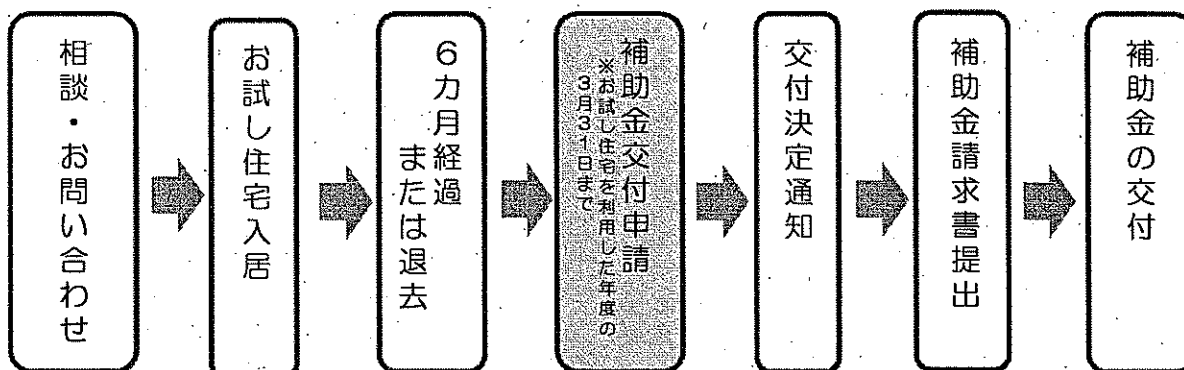
・家賃 180,000円  
 (月上限30,000円×6カ月)  
 ・仲介手数料 55,000円  
 ・家賃保証料 50,000円  
 285,000円 > 180,000円  
 ⇒ 補助金額 180,000円

## 申請方法

下記の申請書類をそろえて、お試し住宅を利用した年度の3月31日までに、稲美町  
 役場企画課政策・行革係までご提出ください。

1. 稲美町移住定住支援補助金(お試し居住補助金)交付申請書
2. 居住物件の賃貸借契約書の写し
3. 補助対象経費に係る領収書又は支払った金額等必要な事項が確認できるもの
4. 申請者の属する世帯全員の住民票
5. 誓約書
6. その他、町長が必要と認める書類

## 補助金交付の流れ



補助対象期間終了後も住み続けることができます。  
 ※再契約等が必要な場合があります。

### 【お問い合わせ】

稲美町役場企画課政策・行革係  
 〒675-1115 兵庫県加古郡稲美町国岡1丁目1番地  
 電話 079-492-9130 FAX 079-492-5162  
 e-mail kikaku@town.hyogo-inami.lg.jp



詳しくは稲美町ホームページまで！  
<http://www.town.hyogo-inami.lg.jp>

【お試し居住補助金の補助を受けられた皆さまへ】  
お試し居住補助金アンケートのお願い



稲美町では、移住・定住施策の参考とするため、お試し居住補助事業を受けられた世帯に対し、アンケートのご協力をお願いしております。

※アンケートは世帯主または代表者の方お一人がお答えください。(無記名)

1. お試し居住補助金について、どのようにして知りましたか。  
①広報紙・チラシ ②ホームページ ③新聞記事・インターネット ④自治体窓口  
⑤家族・友人・職場からの紹介 ⑥不動産事業者からの紹介 ⑦その他( )
2. 稲美町に居住されたきっかけについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
①就業 ②退職 ③結婚 ④離婚 ⑤子育て ⑥学校関係 ⑦親の介護 ⑧その他( )
3. 稲美町に居住を決めた理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
①不動産や家賃が安い ②自然環境がよい ③生活に便利がよい ④通勤に都合がよい  
⑤医療サービスが充実 ⑥高齢者福祉が充実 ⑦子育てサービスが充実 ⑧教育が充実  
⑨子育てに親の支援が得られる ⑩生まれ故郷である ⑪親(子ども)が稲美町に住んでいるから  
⑫友人・知人がいるから ⑬災害が少ない ⑭その他( )
4. 稲美町へ居住して良かったことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
①自然環境がよい ②生活に便利がよい ③通勤に都合がよい ④医療サービスが充実  
⑤子育てサービスが充実 ⑥教育が充実 ⑦治安・マナーが良い ⑧良好な人間関係ができた  
⑨子育てに親の支援が得られる ⑩その他( )
5. 居住してみた結果、今後、一戸建ての建築等により、「町内定住」する意向はありますか。  
①ある(すでに定住している) ②わからない ③ない
6. 「町内定住」する場合に選ぶ地域の条件について、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
①不動産や家賃が安い ②自然環境がよい ③生活に便利がよい ④通勤に都合がよい  
⑤医療サービスが充実 ⑥高齢者福祉が充実 ⑦子育てサービスが充実 ⑧教育が充実  
⑨子育てに親の支援が得られる ⑩生まれ故郷である ⑪親(子ども)が稲美町に住んでいるから  
⑫土地を持っている ⑬友人・知人がいる ⑭災害が少ない ⑮その他( )
7. その他、町に対する意見・要望がありましたらご記入ください(自由記述)

※以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

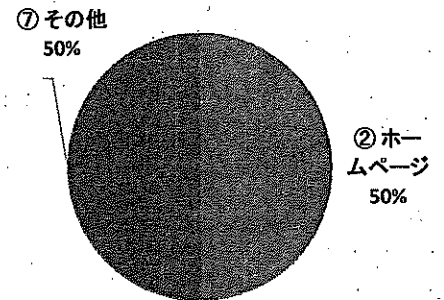
【アンケートの問合先】稲美町企画課 政策・行革係 079-492-9130

# 移住定住支援補助金（お試し居住補助金）に関するアンケート集計表

## 1. お試し居住補助金について、どのようにして知りましたか。

- (1) 広報紙 (2) ホームページ (3) 新聞・インターネット (4) 自治体窓口  
(5) 家族・友人・職場からの紹介 (6) 不動産事業者からの紹介 (7) その他

	合計	H30	R1	R2
① 広報紙・チラシ	0	0	0	0
② ホームページ	1	0	0	1
③ 新聞記事・インターネット	0	0	0	0
④ 自治体窓口	0	0	0	0
⑤ 家族・友人・職場からの紹介	0	0	0	0
⑥ 不動産事業者からの紹介	0	0	0	0
⑦ その他	1	0	0	1
計	2	0	0	2

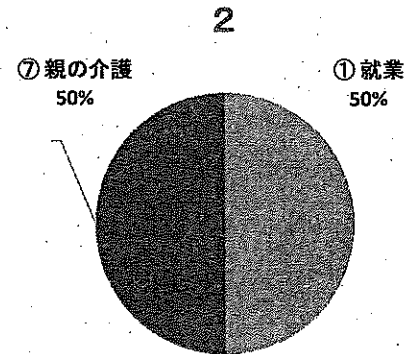


- ⑦ その他の記載内容  
・カムバックひょうご東京センター

## 2. 稲美町に居住されたきっかけについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- (1) 就業 (2) 退職 (3) 結婚 (4) 離婚 (5) 子育て (6) 学校関係 (7) 親の介護 (8) その他

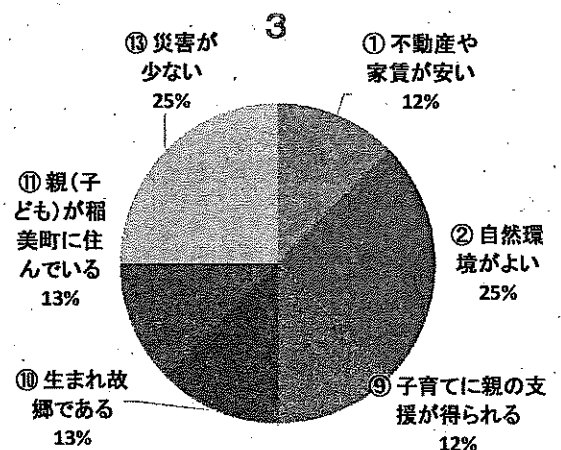
	合計	H30	R1	R2
① 就業	1	0	0	1
② 退職	0	0	0	0
③ 結婚	0	0	0	0
④ 離婚	0	0	0	0
⑤ 子育て	0	0	0	0
⑥ 学校関係	0	0	0	0
⑦ 親の介護	1	0	0	1
⑧ その他	0	0	0	0
計	2	0	0	2



## 3. 稲美町に居住を決めた理由について、あてはまるものをすべてに○をつけてください。

- (1) 不動産や家賃が安い (2) 自然環境がよい (3) 生活に便利がよい (4) 通勤に都合がよい  
(5) 医療サービスが充実 (6) 高齢者福祉が充実 (7) 子育てサービスが充実 (8) 教育が充実  
(9) 子育てに親の支援が得られる (10) 生まれ故郷である (11) 親(子ども)が稲美町に住んでいる  
(12) 友人・知人がいるから (13) 災害が少ない (14) その他

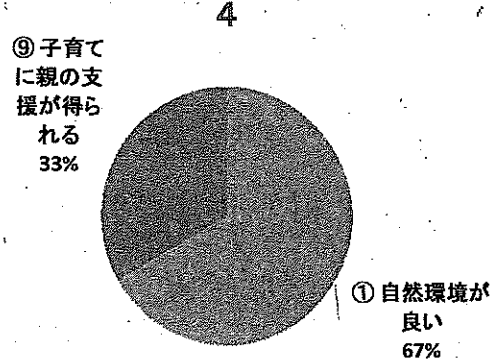
	合計	H30	R1	R2
① 不動産や家賃が安い	1	0	0	1
② 自然環境がよい	2	0	0	2
③ 生活に便利がよい	0	0	0	0
④ 通勤に都合がよい	0	0	0	0
⑤ 医療サービスが充実	0	0	0	0
⑥ 高齢者福祉が充実	0	0	0	0
⑦ 子育てサービスが充実	0	0	0	0
⑧ 教育が充実	0	0	0	0
⑨ 子育てに親の支援が得られる	1	0	0	1
⑩ 生まれ故郷である	1	0	0	1
⑪ 親(子ども)が稲美町に住んでいる	1	0	0	1
⑫ 友人・知人がいるから	0	0	0	0
⑬ 災害が少ない	2	0	0	2
⑭ その他	0	0	0	0
計	8	0	0	8





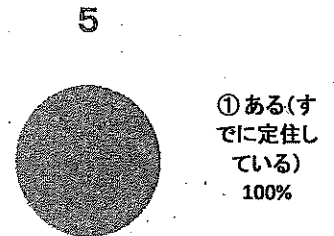
4. 稲美町へ居住して良かったことについて。あてはまるものすべてに、○をつけてください。  
 (1) 自然環境がよい (2) 生活に便利がよい (3) 通勤に都合がよい (4) 医療サービスが充実  
 (5) 子育てサービスが充実 (6) 教育が充実 (7) 治安・マナーがよい (8) 良好な人間関係ができた  
 (9) 子育てに親の支援が得られる (10) その他

	合計	H30	R1	R2
① 自然環境がよい	2	0	0	2
② 生活に便利がよい	0	0	0	0
③ 通勤に都合がよい	0	0	0	0
④ 医療サービスが充実	0	0	0	0
⑤ 子育てサービスが充実	0	0	0	0
⑥ 教育が充実	0	0	0	0
⑦ 治安・マナーがよい	0	0	0	0
⑧ 良好な人間関係ができた	0	0	0	0
⑨ 子育てに親の支援が得られる	1	0	0	1
⑩ その他	0	0	0	0
計	3	0	0	3



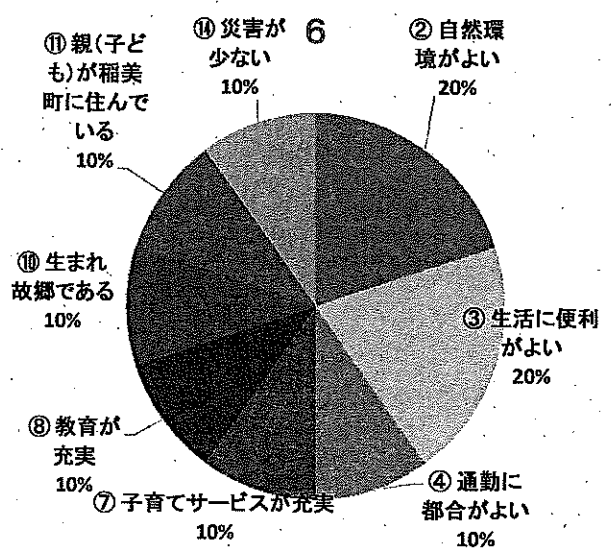
5. 居住してみた結果、今後、一戸建ての建築等により「町内定住」する意向はありますか。  
 (1) ある(すでに定住している) (2) わからない (3) ない

	合計	H30	R1	R2
① ある(すでに定住している)	2	0	0	2
② わからない	0	0	0	0
③ ない	0	0	0	0
計	2	0	0	2



6. 「町内定住」する場合に選ぶ知育の条件についてあてはまるものすべてに○をつけてください。  
 (1) 不動産や家賃が安い (2) 自然環境がよい (3) 生活に便利がよい (4) 通勤に都合がよい  
 (5) 医療サービスが充実 (6) 高齢者福祉が充実 (7) 子育てサービスが充実 (8) 教育が充実  
 (9) 子育てに親の支援が得られる (10) 生まれ故郷である (11) 親(子ども)が稲美町に住んでいる  
 (12) 土地を持っている (13) 友人・知人がいる (14) 災害が少ない (15) その他

	合計	H30	R1	R2
① 不動産や家賃が安い	0	0	0	0
② 自然環境がよい	2	0	0	2
③ 生活に便利がよい	2	0	0	2
④ 通勤に都合がよい	1	0	0	1
⑤ 医療サービスが充実	0	0	0	0
⑥ 高齢者福祉が充実	0	0	0	0
⑦ 子育てサービスが充実	1	0	0	1
⑧ 教育が充実	1	0	0	1
⑨ 子育てに親の支援が得られる	0	0	0	0
⑩ 生まれ故郷である	1	0	0	1
⑪ 親(子ども)が稲美町に住んでいる	1	0	0	1
⑫ 土地を持っている	0	0	0	0
⑬ 友人・知人がいる	0	0	0	0
⑭ 災害が少ない	1	0	0	1
⑮ その他	0	0	0	0
計	10	0	0	10



7. その他、町に対する意見・要望がありましたらご記入ください(自由記述)  
 ・空き家が気になります。雑草がすごいので、できれば家を建てて住みたいので。  
 ・もっと子育て支援や教育の面が充実すればいいと思います。

